

秀吉と宗康、
作戦会議の城!!

Enjoy!

Nagaizumi

Sanpo

発行 ながいずみ観光交流協会

長久保城の歴史を再現した出陣武者行列風景(2010年9月)

今川・北条・武田・豊臣・徳川にとって 重要な意味をもっていた長久保城



長泉町ふるさとカルタより

クチコミ
その1

砦から城へ…長久保城の移り変わり

鎌倉時代初期、竹之下孫八左衛門頼忠が、長久保の地(現在のウェルディー長泉周辺)に砦を築いたのが長久保城の始まりといわれ、本格的な城が築かれたのは戦国期。今川氏が築城し、その後、後北条氏との間で争奪戦があった。

桶狭間の戦いで今川義元討死以降、武田氏が駿東地域に侵入を開始。その後武田氏と後北条氏との勢力争いの末、武田氏の城となったが、武田氏が滅亡すると、駿東地方は徳川家康の領するところとなった。



長泉町ふるさとカルタより



牛ヶ淵

騷乱の時代に在りし 長久保城
戦国時代の平山城で、戦略上の要害にあったため今川氏、武田氏、北条氏、徳川氏がこの城をめぐって争った。発掘により三日月堀(甲州流の築城術)や畝堀(北条氏の築城術)が発見された。城郭は大部分が失われ、僅かに長泉北小学校正門前の空堀・土塁・曲輪と城山神社境内の曲輪・土塁が残っている。



北条の畝堀



武田の三日月堀



長久保城址説明図



鐵ヶ淵



長泉町ふるさとカルタより



長久保城出土品の数々文化財展示館にて展示(コミュニティながいずみ2F)

血に染まる 鎧洗いし 鎧ヶ淵
長久保城をめぐって多くの武士が戦った高橋での合戦で、血に染まった鎧や刀を洗ったり、激戦で使用不能になった鎧を沈めた淵といわれている。また、傷つき敵に追われた武者が馬を淵に乗り入れ、自ら命を絶ったという話も伝わっている。

長久保城の歴史年表(一部異説あり)			
時代	支配者	出来事	
鎌倉時代(1185年~)	竹之下孫八左衛門	砦築く	
室町時代(1336年~)	今川氏	長久保城支配(長久保氏)	
1537年	北条氏	長久保城修復	
1545年	今川氏	長久保城下の戦い『鎧ヶ淵の由来』	
1570年	北条氏 武田氏	萩姫が牛車と共に淵に身投げ『牛ヶ淵の由来』	
安土桃山時代(1573年~)			
1582年	徳川氏	長久保城で秀吉と家康が小田原攻めの最後の軍議	
1590年	豊臣氏	山中城の戦い 一柳直末が戦死 『一柳直末公首塚』	
江戸時代(1603年~)	徳川氏	長久保城廃城	
1613年	徳川氏		

ながいずみ観光交流協会(伊豆半島ジオパーク 長泉ビジターセンター)

〒411-0943 静岡県駿東郡長泉町下土狩1283-11 コミュニティながいずみ2F

TEL.055-988-8780 ■9:00~17:00 ■月曜定休

■写真・資料提供:長泉町・長泉町教育委員会・長久保 源蔵(敬称略)

■参考資料:長泉町史・絵本 長久保赤水

